



関前諸島

Kaiko Hamatani

総合目次

口 絵	自然	村政	歴史	産業	文化財	教育	福祉
発刊のことば						村長	池田 深
発刊を祝して						議長	吉田 寶一

一 自然と風土

村の概要 地形と地質 気象と気候 植物と動物

二 原始・古代

原始時代 古墳時代 奈良・平安時代

三 武士と水軍の世紀

鎌倉時代 戦国乱世と村上水軍 秀吉の四国統一

四 近世の社会と生活

封建支配の完成 島民の年貢負担 産業と海運 村人の生活と文化

五 行財政・福祉の推移

村政の発展 財政の推移 福祉と保健衛生 治安・消防・兵事

六 産業と開発

農林業 水産業 石灰石採石業 離島振興と土木建設

商工業と交通 人・創造・未来

七 教育文化

学校教育 社会教育

八 民俗・芸能

神道 佛教 民俗と文化 弓祈禱神事 伝説と民話

附一 関前村年表

二 関前村古文書目録

あとがき
編纂委員名簿

教育長 小西 和重

九四九

九七四

七六五

六八三

五〇五

三五二

一五九

一一七

七九

1 村の概要

- 一 沿革と位置……………3
- 沿 革 数理的位置 交通的位置
- 地域的特性
- 二 地勢と面積……………8
- 地勢と広がり 面積
- 三 人口と戸数……………10
- 人口・世帯数の推移 大下島の人口
- 就業者別人口 人口の動態 人口の構造
- 集 落

2 地形と地質

- 一 地 形……………24
- 地 勢 地 形 堀と沼 海岸の地形
- 二 地質と土壌……………33
- 地質と岩石 小大下島の石灰岩 土 壤
- 三 海況と海底地形……………37
- 潮 流 関前灘の海底 他の海域

3 気象と気候

- 一 気候・天候……………43
- 気 候 気 温 降水量 風と天候・気象

- 二 自然災害……………47

江戸期の災害 明治十七年の台風と高汐
明治三八年の水害 戦前の水害
戦後の災害 平成三年秋の台風

4 植物と動物

- 一 植物・海藻……………57
- 植 生 巨 木 社 叢
- 山草と薬草 海 藻
- 二 動 物……………67
- 鳥獣類 昆虫類 チョウとトンボ
- 海岸動物 魚介類

海岸美の鳥せきぜん(30) 戦後の風水害(50)
せきぜんの巨木・銘木(60) 四季の花せきぜん(62)
蝶の鳥せきぜん(70) 海浜の小動物(75)
味魚せきぜん(76)

1 原始時代

- 一 旧石器時代……………81
 - 旧石器時代の瀬戸内海 象と伊予
- 二 縄文・弥生時代……………84
 - 気候の温暖化 生活の変化 海の生活
 - 原始的な焚寄漁法 石亀と巨石崇拜
 - 弥生時代

2 古墳時代

- 一 時代区分と古墳の分布……………93
 - 前期古墳 後期古墳 鯨岡古墳
 - 相の谷古墳群 越智郡陸地部 芸子の島々
- 二 正月鼻古墳群……………98
 - 古墳群の発見 分布 出土物
 - 古墳の謎 大番さん 古墳期の生活

3 奈良・平安時代

- 一 古代の政治と文化……………105
 - 律令下の郷土 姓と地名 古代の文化
- 二 古代山城……………108
 - 朝鮮半島的情勢 古代山城観音崎
 - 甲ノ峯 園地山 大石ノ峰 火山

- 三 海賊の発生……………
- 武士のおこり 純友の乱 乱の意義と終末……………

1 鎌倉・室町時代

- 一 源平争乱と河野氏……………119
 - 源氏の拳兵 村上清長の討死
 - 通信の勢力回復 壇ノ浦の戦い
 - 二 海賊から水軍へ……………122
 - 海賊衆 村上氏の起こり
 - 三 河野氏の勢力……………124
 - 守護職河野氏 承久の乱と河野氏
 - 元寇と河野の後築地 南北朝の内乱と河野氏
 - 高縄城から湯築城へ
 - 四 河野氏の盛衰……………129
 - 細川氏の伊予侵入 通堯南朝へ味方
 - 通堯帰国 通堯の戦死 亀王丸の河野家継承
 - 河野家の内紛
- 一 水軍の城砦……………134
- 二 郷土の城砦……………142
- 城砦の構造 宮山城 宮山城と禪寺・真宗寺
 - 大下城 観音崎城 岡村城

3 秀吉の四国統一

- 一 統一と四国の情勢……………147
 - 河野氏の動き 毛利勢の伊予侵攻
 - 越智郡の諸城落成
- 二 朝鮮の役と水主……………149
 - 文祿慶長の役 戦争の推移 領主の交替
- 三 水軍の解体……………153
 - 城割り 因島村上氏の鞆への移動
 - 水軍解体後の事件

1 封建支配の完成

一 藤堂・加藤家の支配……………162

 高虎以前の支配 藤堂高虎の入部

 加藤嘉明の支配 蒲生忠知時代

二 松山藩の藩政……………165

 松平定行の入国 松山藩政の推移

 政治犯の流刑 享保の飢饉と流罪

 久万山騒動の余波 中川伝吾の流罪

 遠山甚太郎の遠島

 景浦金三・山口岩太郎らの流刑

三 島方の行政(郡役人)……………173

 島方代官所 代官所の統廃合 手代・元締

 郡会所 大庄屋・改庄屋

四 村の成立と村方の支配……………180

 内海島嶼部へ漂海漁民の定住

 小大下イカリ網代の開発 岡村の六軒株

 村方役人(三役) 庄屋 岡村庄屋松垣氏

 大下村庄屋村上氏 戸口調査と宗門改

 岡村の人口 大下村の人口 人口の移動

 高齢者への祝 高札場と村船 小大下島論争

 明和の争論 村政と村入用

2 島民の年貢と諸負担

一 村高と田畑……………204

 本百姓と水呑 村高 田畑

 新田畑の開発 株頭制度 畑の他領売り

 地割(地坪)制度

二 年貢と諸負担……………216

 伊子の七ツ免 高内又七の春免 本年貢

 小物成(雑税) 囲碁の制 米作

 その他の作物 牛馬と伯楽 肥料

 凶作と飢饉 豊作・雨乞の祈祷

三 林政と林業……………229

 山林の所有 岡村の藩有林 御用木と大木改

 分一と運上 村と鉄砲

3 活発な産業と海運……………233

一 漁場と漁業生産……………233

 概要 網代の開発 漂海漁民と岡村

 岡村の漁場 漁法 漁師の負担

 煎海鼠の上納 魚類の販売 製塩

 漁場紛争(文政五年 天保期 嘉永・慶応期 明治初年)

二 商工業・職人……………248

4 村人の生活と文化

一 衣食住とくらし……………302

 村人のくらし 儉約触 衣食住

 岡村の大火 出稼

二 生活の苦勞と救済……………314

 難洪者の救済 天保の飢饉 幕末期の困窮

 疫病の流行 博奕と処分 出奔・欠落

 盗難と喧嘩 雑事件 座頭・警女の保護

三 信仰生活と教育・文化……………324

 心学と庶民の教化 寺子屋

 四国遍路と伊勢参り 有馬入湯 娯楽

 医療 文学 信仰 善照寺

 法珠寺 姫子鷗神社 大下早津佐神社

 小大下碓明神 神仏分離と合祀

四 幕末維新と島民……………336

 異国船の渡来 藩の対応 沿岸の警備

 台場の築造 大下の海岸見張番所

 農兵の組織 長州征伐 第二次征長

 献納献金 藩政終末期の世相

 土佐藩の占領 廢藩置県 維新期の庄屋

一 村方の商業 商業の取締り 酒と油

 他の商品の販売 市と祭り 貨幣と金融

 木綿業 職人

二 小大下島の石灰石……………261

 概要 創業期の小大下島 天保期の稼行

 嘉永・安政期の再興 原石の移出

三 海運業の発展……………266

 概要 藩法と海運の支配 船(石数)改

 内海航路の発達 岡村港の改修

 上方での滞銀一件

四 海運の諸相……………273

 水主役 参勤交代 狼煙場と篝火所

 水主賃銀のからくり 公儀役人の通航

 分銅・秤改の入村 測量方役人の廻村

 巡見使の通行 海難処理 海難の例

五 白濁の繁栄……………287

 概要 白濁の開発

 村方による宝暦期の繁栄 文政期の白濁

 白濁への出開帳 天保期の白濁

 白濁最後の繁栄 白濁の借財 白濁の衰退

1 村政の発展

- 一 愛媛県の成立と戸長時代……………354
 - 県の統廃合 区制の実施
 - 郡区町村編成法 戸長期の村政
 - 地租改正 越智郡々制
- 二 関前村の出発……………364
 - 関前村の成立 村名の由来
 - 役場の位置 村会の開設 歴代議員
 - 戦前の村議会 戦後の村議会
 - 区会の設置 部落常会と自治会
- 三 村長と村政……………381
 - 井村亮村政 井村利達村政
 - 松垣信庸村政 村上利右衛門と井村篤夫
 - 大正昭和期の井村亮 美藤清文村政
 - 美藤芳人村政 池田深村政
 - 助役と収入役 行政組織の変遷
 - 役場吏員 村民各位へ
- 四 村政の協力者……………412
 - 監査委員 公平委員 固定資産評価委員
 - 人権擁護委員 選挙管理委員

2 財政の推移

- 一 戦前の財政……………416
 - 明治期の財政 大正期 昭和期
 - 基本財産
- 二 戦後の財政……………423
 - 生産と所得 戦後のインフレ
 - 近年の財政

3 社会福祉と生活

- 一 社会福祉……………436
 - 沿革 生活保護 民生委員
 - 児童福祉 保育所 母子福祉
 - 身障者の福祉 遺族・引揚者援護
 - 福祉施設 社会福祉協議会 老人福祉
 - 老人の医療と保健 老人クラブ
 - 長寿・敬老
- 二 保健・衛生……………459
 - 沿革 伝染病対策 種痘
 - 隔離病舎 戦後の衛生 健康のカルテ
 - 医師 診療所の開設 保健婦
- 三 国民健康保険と年金……………469
 - 国民健康保険 年金制度

四 環境衛生

- ごみ・し尿処理 清掃活動 衛生組合
- 火葬場

4 治安・消防・兵事

- 一 治安……………478
 - 治安 駐在所
- 二 消防活動……………480
 - 消防組の設置 消防団の結成
 - 消防委員会 越智郡島部消防組合
- 三 兵事……………486
 - 明治初年の兵役 日清・日露の戦役
 - 大正・昭和期の戦役 太平洋戦争
 - 戦争の経過 戦没者名簿

村政百年記念⁽³⁹⁸⁾

村の宝物園児たち⁽⁴¹²⁾

1 農林業

- 一 農業の近代化……………508
- 二 農地改革 農業の近代化……………516
- 果樹産業……………516
- 果樹の発展 共販体制の確立 計画密植……………524
- 三 農業団体……………524
- 農業協同組合 園芸組合 農業会……………524
- 柑橘出荷組合 煙草耕作組合……………524

2 水産業

- 一 沿革……………534
- 明治初年の漁業 漁業組合の設立……………534
- 遠海出漁 大正・昭和初年の漁業……………534
- 漁業紛争 戦後の漁業……………534
- 二 漁場と漁法……………547
- 漁場 漁具漁法 サワラ漁……………547
- 三 近年の漁業……………555
- 漁家と漁獲 漁業協同組合 養殖業……………555

3 石灰石採石業

- 一 沿革……………567
- 明治初年 明治中期 大正期以降……………567

戦後の採石 採石業の終焉

- 二 戦後の採石 採石業の終焉……………584
- 小大下島石灰石鉱山の歴史……………584
- 主要鉱山誌……………584
- 本村上鉱山 小大下鉱山……………584
- 井村石灰石鉱山 小大下石灰石鉱山……………584
- 関前鉱山 大下島石灰石鉱山……………584
- 各鉱山の生産実績……………584

4 離島振興と土木建設

- 一 離島開発と振興……………588
- 離島振興法 離島センター……………588
- 農林漁業近代化事業 過疎対策……………588
- 二 土木建設事業……………592
- 概要 明治期の海面埋立……………592
- 時局匡救事業 失業対策……………592
- 戦前の災害復旧事業 戦後の災害復旧……………592
- 戦後の埋立 土地改良事業……………592
- 三 道路建設……………602
- 大正期 近年の道路工事 農道建設……………602
- 四 港湾建設……………604
- 概要 明治の岡村港……………604
- 大正四年の防波堤計画 大正十年の大修築……………604
- 昭和三、四十年代の改修 近年の岡村港……………604

6 人・創造・未来

- 一 観光と文化……………657
- 観光開発 民宿・喫茶 文化財の保護……………657
- 文化活動……………657
- 二 夢の村づくり……………673
- ふる里創生村おこし……………673
- コミュニティ・アイランド 未来への架橋……………673
- 二十一世紀への目標 人・未来・せきぜん……………673
- 石灰採石懐旧(574) 岡村港のおもかげ(606)……………673
- 船・今はむかし(652) サマーフェスティバル(664)……………673
- せきぜん村美術(666) 産業文化祭(668)……………673
- はくらのあーと(670) せきぜん顔一〇〇(676)……………673

5 商工業と交通

- 一 商工業……………619
- 明治期の商工業 信用・金融……………619
- 大正期の産業 戦後の商業……………619
- 工業と建設業……………619
- 二 交通と通信……………629
- 概要 道路交通 岡村・大下の一周道路……………629
- 車両の増加 関前郵便局 電信・電話……………629
- 映像の時代……………629
- 三 海運と海上交通……………641
- 岡村の渡海船 大下の渡海……………641
- 村宮船の就航 民間の定期航路……………641
- 港湾港勢 岡村の海運業……………641
- 関前村機帆船協同組合 航路と関前……………641
- 大下島灯台……………641

1 学校教育

- 一 教育制度……………685
 - 明治期 大正時代……………685
- 二 昭和時代の教育……………690
 - 昭和初期 戦時体制下の教育 青年教育……………690
 - 戦後の教育 占領下の教育……………690
- 三 学校制度の改変 教育内容の改訂……………698
 - 学校の変遷……………698
 - 大下小学校 岡村小学校 小大下校……………698
 - 関前中学校 岡村・大下中学校……………698
- 四 教育委員会……………725
 - 委員会制度 市町村教育委員会の誕生……………725

2 社会教育

- 一 社会教育の沿革……………727
 - 明治・大正期 戦 後 社会教育委員……………727
- 二 公民館……………731
 - 公民館の発足 館の運営 離島センター……………731
- 三 社会体育……………740
 - 発 足 関前村体育協会々則……………740
- 四 文化活動……………744
 - 発 足 活動内容……………744

五 各種団体

- PTA 戦前の青年会 青年団……………746
- 婦人会の発足 戦後の婦人会……………746
- 老人クラブ……………746

1 神道

神道の形成と発展……………769

神道の意義 姫子陽神社の創立 歴代神主

社中職各位階家筋世代 姫子陽神社の概要

井村家系図より 早津佐神社の創立

社中職各位階家筋世代 木野山神社

小大下島の神社

神社棟札の調査……………783

三島大明神分 道祖神分 金毘羅宮分

荒神宮分 蛭子神社分 祇園宮分

観音崎・浦安神社分 天照皇太神宮

住吉明神分 龍神宮分 小大下島分

2 佛教

浄土真宗の伝播……………791

芸備地方の真宗 岡村島への波及

石山本願寺の攻防

真宗寺院の開創と善照寺・法珠寺……………794

真宗の浸透 常高寺了空の布教

幕府の宗教政策 キリシタン禁令

檀下制度

善照寺の創建と発展……………798

善照寺の概要 善照寺縁起 善照寺略誌

善照寺の改築 明治四年寺社明細帳

岡村と禪宗 南潮山智勝寺

法珠寺の創立と由緒……………804

沿革 世代住職 法珠寺由緒(一)

法珠寺由緒(二) 法珠寺由緒(三) 照方寺

観音堂と観音崎……………809

観音堂の由来 智勝寺と墓標群

堂の建立と規模 観音堂の修理

本尊と開帳 堂内外の諸像 献納物

観音堂の堂守 岡村一件

観音堂廃堂の危機 観音堂本尊の由来

観音崎と燈明台……………821

観音崎の展望 燈明台

天保期の油料収支 常夜燈油料の支出願

観音崎の公園化と整備 観音崎と文学

頼杏坪らの来遊 明治期の詩文

講と信仰……………831

講の意義 岡村島の講 石鎚講

法珠寺講 一畑講 宮島講 講集団

報恩講 三島講 和霊講 頼母子講

至誠会

3 民俗と文化

一 衣・食・住……………835

概要 水 衣生活 普段着・アイマ着

食生活 主食と副食 食事

住居の変化 農家の住居 出稼ぎ

浜子稼ぎ 杜氏 生活の変化

二 年中行事……………853

概要 正月の行事 春の行事

夏の行事 秋の行事 年越しの行事

三 通過儀礼……………871

婚姻 出産 葬制 追善

4 岡村島弓祈禱

一 弓祭りの運営……………877

来歴 組み分け 弓祭り組

統合後の組の組織 当頭・当脇

当家人 弓祭り行事 当人の役付人数

二 当人の仕事……………883

射手・射場・的……………883

射手 射場 的……………890

三 巻藁宿・射手衆の練習……………890

巻藁宿の決定 射手の練習……………890

四 射場見……………892

射場見の行事 昭和八年祭礼覚

五 弓祭り神事……………892

射手衆の水垢離 弓祭り次第

七度半の使い 迎え神事 諸役の口上

射手衆の射 各種の掛け ツヅ

射手 担ぎ手 射止めの扇 鼠的

射手への賞……………899

六 祭りの終り……………899

射場発ち 終了奉告祭 初祭礼祭覚

伊勢節 射手衆の迎え 諸役の挨拶

茶席と宴席 射手衆退出

七 初祭り運営費……………902

経過 初祭礼万覚 購入品……………904

八 大下島の弓祈禱……………904

5 伝説と民話

一 地名……………906

地名の重要性 関前村・灘 岡村島

大下島・村 小大下島 観音崎

白湯 城の谷 地坪帳の小字

岡村地誌 大下村地誌 郷土誌稿の字名……………906

二	民話・伝説……………	910
	おにが島　お汐と亀松　正月鼻	
	観音崎の千日参り　七つ地藏さん	
	岡村島の白岩と盆石	
三	民謡……………	914
	弓祈禱　秋祭りの木遣り　亥の子歌	
四	盆踊り唄……………	917
	岡村島音頭　お汐亀松口説　山三口説	
	平井ごん八　俊徳丸一代口説	
	鈴木主水口説　阿波の十郎兵衛	
	石童丸口説　木山音頭	
五	音頭本より……………	924
	桜惣五郎口説　親鸞聖人十七谷修行	
	石童丸物語　婦人協会心画形見音頭	
	平井権八物がたり　お梅伝次	
	お千代山田　お汐亀松　播州皿屋敷	
	阿部安那　巡礼お鶴　忠臣義士	
	宮きうしのぶ　丸亀請取口説	
六	わらべ唄……………	927
	手まりうた　遊びうた　今度来る時や	
	関前みかん小唄	
七	方言……………	929
	方言の特色　方言集	

観音崎のおもかけ (810)
 観音崎の島せきせん (826)
 村井戸と井戸 (836)
 観音堂御開帳 (814)
 盆おどりせきせん (860)
 せきせん村祭り (864)
 弓祭りの村せきせん (886)